

精神部会 H30 年度上半期活動報告

【目的】精神障がいの方が、住み慣れた地域を拠点とし、ご本人の意向に即して充実した生活を送ることができるよう、入院中から医療・保健・福祉等で連携して支援が行える体制を構築していく。更に啓発活動等を行い、安心して暮らし続けていける地域づくりを目指す。

【主な活動】

精神部会

①事例検討

部会内で、退院支援時に本人の気持ちの揺らぎがありスムーズに進まない事例、グループホームの利用で力が付き、グループホームを卒業してアパートでの生活を始めた事例を共有した。支援のポイントや地域支援者の連携の大切さ等について共有でき、学びを深められた。

②地域への啓発・研修

安心して地域での暮らしを継続していけるよう、今年度は支援者を対象とした研修会を検討した。その結果、地域生活支援拠点等事業検討会で主催する「精神障がい者の支援力を高めよう！～現場で使える認知行動療法～」と共催とすることとした。

③精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議

これまで部会で行ってきた取り組みを継続し、退院支援、住まいの確保支援、地域の資源の充実等の必要な課題検討を行い、地域づくりを行っていく。その一つとして、長期入院者等との面談で聞かれた当事者の声から見える課題や、日々の支援の中で感じている課題等を出し合い、課題の整理を行っている。また今後、住まいの確保支援の課題について検討するために、まずは県社協が実施している「長野県あんしん創造ねっと」の学習会を企画する。

④資源マップの見直し

昨年度完成した地域の資源マップについて、今年 10 月末の情報で改訂し、関係機関へ配布する予定。

長期入院者等との面談

●県保健師、市町村保健師、相談員で、精神科病棟に入院されている方との面談を実施。今年度は 10 名の方と面談し、8 名の方について情報共有を行った。また伺ったお話から地域課題が抽出できるよう、面談で伺う内容も部会内で検討した上で実施した。当事者の声を大切に、安心して暮らし続けられる地域づくりにつなげたい。

仲間としゃべろう会虹

●当事者の方を中心に、気軽に集まっておしゃべりができる場として開催。月 1 回、中野会場・飯山会場を隔月開催で、継続している。